

平成 28 年度 第 10 回  
ところ会 10 月例会  
バスで巡る武田勝頼終焉の地

日時:平成 28 年 10 月 20 日(木)  
8:00 武蔵藤沢駅出発

終日:快晴 参加者:25 名

見学場所及び予定時間

武蔵藤沢駅(8:00)⇒入間 IC(圏央道・中央自動車道)⇒勝沼 IC⇒天目山栖雲寺(9:55~10:45)⇒景徳院(11:00~11:50)⇒昼食(12:05~13:25)⇒柏尾古戦場跡(13:40~13:55)⇒大善寺(14:05~14:50)⇒ワイナリー工場見学(14:35~15:50)⇒帰路⇒武蔵藤沢駅(17:00)

今月の例会は久振りの快晴に恵まれての一日となりました。会の参加者が少なくなる中、ところ会の会員以外からも 8 名参加していただき 25 名の参加者でバス旅行を一日楽しく、今回も無事に終了しました。

参加者のコメント:

- 武田家が追い詰められ滅んで行った地域を見るのは悲しくもありましたが、これも歴史の一部なのだ感慨深いものがありました。レストランの料理美味しかったです。バイキングかなと思っていたのにコース料理が出てきて驚きました。また焼きたてのパンの美味しかったこと 3 個も食べてしまいました。
- 栖雲寺は勝頼がわずかな手勢を率いて目指したが、行き着けなかった菩提寺。本堂の大棟の武田菱が秋の日に映えていました。  
『 大棟に光る割菱暮の秋 』
- 個人ではなかなかいけないところに、連れて行っていただき、どこのお寺も立派で、ガイドさんの説明もわかりやすく聞けました。
- 甲斐の国は武田家一族の国、栄華衰退の歴史を振り返りながら赤白のブドウ酒を試飲。一寸呑み過ぎました。
- 甲州といえばぶどう、ワインのイメージでしたが、今回の旅で武田家の終焉の歴史を知りました。勝頼の妻北条夫人 19 歳の、辞世の句「黒髪の乱れたる世ぞはてしなき 思いに消ゆる 露の玉の緒」名前も知られず、幼くして政略結婚し夫と共に自害した戦国時代の悲しい女性の運命に心打たれた史跡巡りでした。ワインレストランでの美味しいランチ、ワインの試飲など久しぶりの秋晴れの楽しいバス旅でした。
- 天目山から正面に見えた富士山は滅多に見えないそうです ラッキーでした。



富士山



景徳院山門



昼食スナッグ



大善寺山門



マズ\*ワイン勝沼ワイナリー



バス車内スナッグ



2016-10-20 ところ会 栖雲寺にて

今回のバス旅行への皆さんのコメントが多数あり一部割愛しながら載せましたので写真スペースがなくなりました。 居田 治